公表　**事業所における自己評価総括表　（放課後等デイサービス）**

○事業所名	とらいあんぐる　なかま		
○保護者評価実施期間	令和6年　12月　11日	～	令和6年　12月　25日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）24名		（回答者数）17名
○従業者評価実施期間	令和6年　12月　11日	～	令和6年　12月　25日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）6名		（回答者数）6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年　2月　7日		

○　分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎月職員全員で話し合い、様々な活動を立案している ・お子様一人ひとりに合わせた課題を提供している ・戸外活動では、公共機関を利用する機会も設けている	・立案後でも課題が出てきた際は、活動を修正して取り組んでいる ・苦手な課題に偏らないように工夫をしている ・様々な体験が出来る様工夫を行っている	お子様の興味や関心を持てるような活動の工夫を行っていく
2	・経験年数に分けて、定期的に社内研修を行っている ・外部研修にも積極的に参加している	・法人内の他事業所の研修報告書等も共有しており、様々な研修で得た内容を確認している	外部研修の参加を多くの職員が受講していく
3	・法人内で複数の事業所がある事で、児童発達支援から放課後等デイサービスまでの利用がスムーズに行える	・事業所間で連携を行い、情報共有を行っている ・移行先の体験に行くことで、不安を軽減できるように取り組んでいる	移行後でも対応についてなどの確認を行っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会が行えていない ・地域交流があまり行えていない ・学校との連携がなかなかとれない	・コロナ禍や様々な感染症の流行がまだ不安定だったため実施が難しい ・コロナ禍だったこともあり、以前伺っていた近隣のデイサービス訪問が行えていない	新年度に向けて取り組めるよう検討していく
2	療育室が広いが、空間の仕切りが無い	・パテーションでの仕切りが考えられるが、パテーションでは不安定さがあり設置が難しい	活動によりパテーションを使用し、設置時は職員を近くに配置し、安全面の配慮を行う
3			